

自宅のパソコンで楽々！ 市・県民税の試算・申告書作成など

市ホームページ
へアクセス

市は、自宅のパソコンを使って、市・県民税の試算や申告書の作成ができるサービスを12月9日から開始します。

市ホームページへアクセスし、源泉徴収票などをもとに、収入や所得控除などの状況を入力するだけで、パソコンの難しい操作や知識はいりません。作成した申告書は、必要書類と合わせて、市役所の課税課窓口へ持参または郵送することで提出でき、申告会場などで長時間待たなくても、申告を済ませることができます。ぜひご利用ください。



なお、今回は平成25年度（24年収入）分が対象。平成26年度（25年収入）分については、来年2月に開始する予定です。

詳しくは、課税課市民税グループ（内線344～347）へ。

○ 利用できるサービス	× 利用できないサービス
<ul style="list-style-type: none"> ◆市・県民税の試算 ◆市・県民税申告書の作成 ◆退職金に係る市・県民税額の試算 など 	<ul style="list-style-type: none"> ◆e-Taxのようなデータ送信による申告 ◆所得税の確定申告書の作成 ◆収支内訳書の作成、減価償却費の計算 など

グリーンカーテン

節電や地球温暖化防止の対策を進める一環として、市が募集を行った「グリーンカーテンコンテスト」一。多数の応募作品の中から、選考委員会による審査の結果、次の皆さんが優秀賞に選ばれました＝敬称略＝。



住宅部門最優秀賞

住宅部門

- 最優秀賞＝青木伸江
- 優秀賞＝山中瞳、高木美、中野弘子、川村勇夫

学校・事業所部門

- 最優秀賞＝大垣南高等学校
- 優秀賞＝大垣市体育連盟
- ほのほの優秀賞＝興文幼稚園



学校・事業所部門最優秀賞

地域を守るため学ぶ 防災ひとづくり塾



災害図上演習（D-I-G）を行う受講生

「大垣市防災ひとづくり塾」が11月2・3日の両日、情報工房で開かれ、約60人の受講生が参加しました。会場では、大垣市の防災や地震についての講義などのほか、白地図に避難場所や病院などの情報を書き込み、災害時のイメージトレーニングを行う「災害図上演習」を体験。参加者らは、地域の防災力向上のため、災害に対する知識や技術を学びました。



公開講座「災害から身を守るための気象情報」（要申込）を11月30日（土）に開催します。詳しくは、生活安全課（内線431）へ。

教育功労者 ～37人3団体を表彰～

平成25年度の市教育功労者が決まりました。これは、市の教育振興に顕著な功績があった人を表彰するものです。11月1日にスイトピアセンターで表彰式が行われ、次の37人3団体の皆さんが表彰されました＝敬称略＝。

- ◇多年社会教育に尽力
安田宏司、名倉準市、安田広人、水田由理美、犬飼直人、池田麗子、高橋雅子、田邊博臣
- ◇多年体育振興に尽力
浅野一、多田博一
- ◇多年学校保健に尽力
平泉泰久、北條郷明、北條尚子、奥田敏治、高田房代、井上孝行
- ◇多年芸術・文化振興に尽力
伊藤千恵子、石原東司子、石原清至、久保田正剛、中川詳三、アマチュアシンガーズクラブミュージズ
- ◇全国的規模の大会などで特に優秀な成績を収めた人
梶本健治（バスケットボール）、梶本健一（バスケットボール）、梶本康次（バスケットボール）、井川純一（スキー）、小山祐（スキー）、小林由貴（スキー）、時岡由佳（空手）、佐々木和真（アーチェリー）、日比野良祐（クライミング）、伊藤有那（陸上）、大垣ミナソフトボールクラブ、大垣南高等学校女子フェンシング部
- ◇学校教育に尽力
柳瀬崇、小塚康弘、岩田光伸、内藤峯子、山田芳之、美原伴子

連結の財務書類で見る

◆平成24年度 市財政状況◆

市は、民間企業の会計手法を取り入れた財務書類を作成・公表しています。本紙面では、市の普通・特別会計に一部事務組合などの関係団体を加えた連結の財務書類と生活に関わりの深い事業や施設にかかる行政コストについてお知らせします。なお、市民1人当りは、平成25年3月31日現在の住民登録人口163,134人で算出しています。普通会計単体の財務書類など、詳しくは、市ホームページまたは、財務課（内線323・324）へ



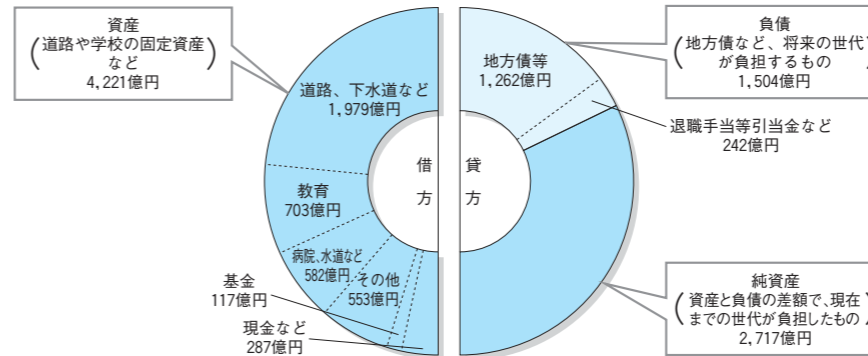
市マスコットキャラクター「おがっきい」

「連結の範囲について」

市 普通会計＋公営事業会計（財産区を除く）
+
一部事務組合等
+
大垣市土地開発公社
+
第三セクター

連結貸借対照表

これまでの行政活動によって形成された道路・建物・土地などの資産と、その資産を形成するために要した財源との関係を表します。

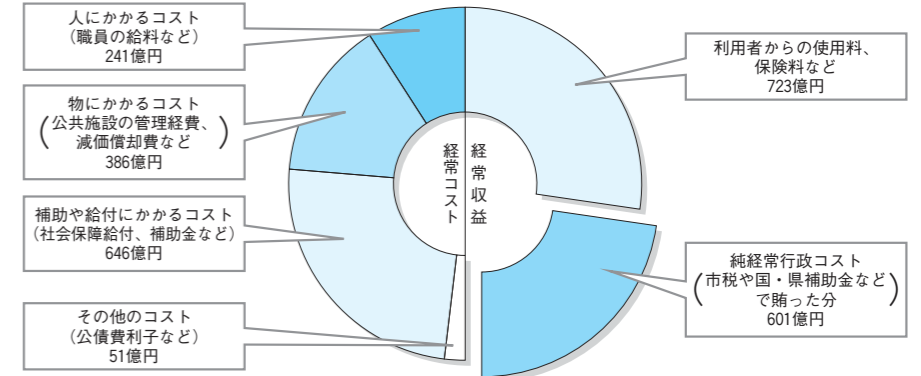


- ◆預貯金にあたる各種基金の合計は、市民1人当たり71,708円で、財政調整基金の取り崩しなどにより前年度より2,414円減少しました。
- ◆借金にあたる地方債などの残高は、市民1人当たり773,707円で、臨時財政対策債などの借入れにより前年度から13,389円増加しました。
- ◆負債・純資産合計に占める純資産の割合は64.4%で、前年度に比べて0.1ポイント低下しました。

連結行政コスト計算書

提供した行政サービスに要した費用（コスト）と、その受益者負担である使用料などの収入を表します。

- ◆経常コストの合計1,324億円に対し、利用者からの使用料などの経常収益は723億円で、差し引き601億円が純経常行政コストとなりました。
- ◆経常コストのうち最も多いのは、補助や給付にかかるコストで、国民健康保険や介護保険などの福祉関係経費の支出割合が高いからです。
- ◆市民1人当たりの経常コストは811,806円で、介護保険給付など社会保障給付の増などにより前年度に比べて15,025円増加しました。



発泡スチロール減容機を導入！ 緩衝材もプラスチック包装へ

市は今夏、発泡スチロール減容機を導入しました。これにより、もえるごみとして出していた発泡スチロールの緩衝材をプラスチック製容器包装（ボトル・カップ・トレイ類）として出いただくことになりました。皆様のご協力をお願いします。詳しくは、クリーンセンター（☎89-4124）へ。

緩衝材ってどんなもの？

外部からの衝撃や振動を和らげるため家具や電化製品などの梱包によく使われる、発泡スチロールをブロック状に形成したものです。



発泡スチロールの緩衝材

減容機導入のメリット

同機は、発泡スチロールを燃やさず、電熱ヒーターを使って溶かし、一定の形のインゴットに成型。インゴットは、プラスチック材料として売却できるため、資源の再利用、市の歳入増などに寄与します。



発泡スチロール減容機

●●● 資源の再利用にご協力をお願いします ●●●



主な事業・施設別の行政コスト計算書（普通会計）

事業・施設	市民1人当たり	利用者1人当たり
高齢者福祉	市民1人当たり 25,028円 高齢者1人当たり 105,147円	
ごみ処理	市民1人当たり 16,642円 ごみ1t当たり 53,022円	
道路	市民1人当たり 13,247円 市道1km当たり 1,409千円	
河川・水路	市民1人当たり 7,788円	
公園	市民1人当たり 4,228円 公園1ha当たり 4,804千円	
保育所	市民1人当たり 22,583円 園児1人当たり 910,103円	
幼稚園	市民1人当たり 3,907円 園児1人当たり 886,555円	
小・中学校	市民1人当たり 13,325円 児童生徒1人当たり 156,132円	
スイトピアセンター	市民1人当たり 4,427円 利用者1人当たり 712円	
情報工房	市民1人当たり 1,503円 利用者1人当たり 1,764円	